

市民懇談会結果概要

(新病院整備の必要性について)

1. 開催日時等

- ・開催日時 平成25年7月25日(木) 午後1時30分～午後4時
- ・開催場所 野洲文化小劇場
- ・参加者 公式発表80名 (市民72名 議員5名 職員4名)

2. 市民理解

◎病院の必要性に関する認識について (市内に病院が必要か)

- ・市内に一定の役割を担う病院が必要であることについて、明確に反対する者はなし。
- ・一定の役割がどのような役割の病院であるかについて、医師会副会長が補足説明。
 - 一定の役割
 - ・中軽度の症状で入院が必要な市内患者への対応
 - ・大学病院などの急性期で重度な医療を担う病院と自宅療養の間をつなぐ役割
 - ・在宅医療を推進する上で診療所等の後方支援の役割

⇒ 市内に病院が必要であることについて、市民の理解は得られていると判断。

◎市が責任を持って病院を整備運営することについて (なぜ、市立病院か)

○野洲病院が自主的に経営再建する可能性

- ・野洲病院が市に「新病院基本構想2010」を提案した経過から、困難であることを説明。

○市が野洲病院を支援する形で医療サービスを継続する可能性

- ・現在まで多額の補助金や資金貸付等を実施したが、経営再建ができなかったことを説明。

○他の医療法人等が野洲病院を支援する可能性

- ・現在まで公開で検討してきたが、名乗りをあげる法人はなし。
- ・野洲病院が抱えている負債を引き受けてまで病院を引き継ぐ事は、通常ビジネスチャンスは低いと判断するのが妥当。

⇒ 将来の医療サービスを現在の野洲病院に期待することが困難であることを理解。

○野洲病院がなくなる前提で、新たに民間病院が進出する可能性

- ・湖南保健医療圏における許可病床数に制限があることを説明。

⇒ 市が関与する病院(市立病院)でなければ困難であることを理解。

◎市立病院への懸念

○病院経営に関すること

- ・新たに見込める国の交付金と現在野洲病院に実施している補助金と同等の費用で運営が可能なこと。
- ・上記収支シミュレーションについて、複数の医療の専門家が検証していること。
- ・収支シミュレーションを平成24年7月に公開して以来、今日まで疑義は出ていない

⇒ 専門家の検証結果に対し、反論する市民はなし。

○市財政に関すること

- ・市財政の健全化に向け、行財政改革に取り組んでいること。
- ・市財政が苦しい状況であっても、市民の安心のためには病院はあった方がよい。

⇒ 医療サービスに対する市民の期待は高い (=市民サービスの優先度が高ければ予算を優先確保)。

○立地場所

- ・新病院の整備に関し、市が責任を持って提案する条件として南口市有地以外にないことを説明。
- ・南口市有地以外の可能性について、用地取得交渉期間や費用面で困難であることを説明。
- ・現在の野洲病院の場所で建て替えることが物理的に困難であることを確認したことを説明。
- ・郊外の場合、周辺病院と競合するため、健全経営できる可能性が低くなることを説明。

⇒ 市が提案している立地場所(南口市有地)について理解。